

やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

田中佐次郎展 一陶禅一如一

会期:2019年4月26日(金)~6月11日(火)

会場:LIXILギャラリー



茶碗「玄黄」 H105×W120mm 撮影:三浦健司

| 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー (<https://www.livingculture.lixil/gallery/>)

所在地:東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL:GINZA 2F

担当:大橋恵美 田村志保

TEL:03-5250-6530 Email:xbn@lixil.com



<https://www.livingculture.lixil/>

LIXIL ギャラリーでは2019年4月26日（金）～6月11日（火）の期間、「田中佐次郎展 一陶禅一如一」（とうぜんいちじょ）を開催します。

田中佐次郎氏は45年にわたり、漢詩を能くし仏教に帰依し唐津の人里離れた深山で作陶に専心しています。作品は茶陶を中心に“古唐津も高麗茶碗も超えた佐次郎唐津”と呼ばれ、高い人気を得ています。

今展では新作の茶碗や壺など10点を展示致します。



茶碗「朱雲」H70×W140mm 撮影:三浦健司

開催概要 | 田中佐次郎展 一陶禅一如一

会 期 2019年4月26日（金）～6月11日（火）

休 館 日 水曜日、2019年5月26日（日）

開館時間 10:00～18:00

企画制作 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

入 場 料 無料

詳 細 <https://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1904-2/>

関連企画 | アーティスト・トーク

本展のアドバイザーである森孝一氏が田中佐次郎氏へインタビュー形式でトークを行います。

開催日時 2019年4月26日（金）18:00～

会 場 LIXIL ギャラリー

| 展覧会の見どころ |

田中佐次郎氏は北九州出身で、縄文・弥生土器に興味を持ち、20代後半より日本各地で発掘に立ち会いました。そして古唐津窯跡発掘のために佐賀県の山瀬を訪れたことから、この地に縁を得て築窯しました。山瀬は桃山時代より幻の名窯と謳われた土地です。

23才の頃には仏教に心惹かれて、38才で越前永平寺のもと得度を受けます。同時に「陶禅一如」（陶工の精神練磨と禅の心は同体）という言葉を受け取り、これを生涯の宿題として作陶をしています。

田中氏の作品は陶技もさることながら、修行のような制作姿勢に“作品は人なり”と言われます。独特の風格と豪快で清烈な作品は観る者を魅了します。

本展では、茶碗「斑唐津」「無地唐津」「伊羅保」「朱雲」「青霄（せいしょう）」や「翠洋壺」「佛塔壺」「高坏」「陶板」「大皿」など最新作10点が展示される予定です。

| 作者略歴 | 田中佐次郎（TANAKA Sajiro）

- 1937 福岡県北九州市に生まれる
- 1965 縄文・弥生土器を各地で発掘、ドルメン調査、手びねりを始める
- 1971 唐津古窯の発掘調査、作陶開始
- 1975 唐津市半田常楽寺境内に登窯を築窯
永平寺に於いて在家得度
- 1979 加藤唐九郎氏と面談し、教えを受ける
- 1985 しぶや黒田陶苑にて個展（以後、毎年開催）
- 1987 古窯地山瀬山中に登窯を移築、「山瀬窯」と定める
- 2003 韓国蔚山（ウルサン）市彦陽（オニャン）に半地上六連房式登窯を築窯、
「亀山（キザン）窯」と名付ける。7年間、焼き続ける
- 2009 ソウルロッテ百貨店にて日本人の陶芸家として初個展（10月23日～27日）
- 2011 日本橋三越にて「炎陽 四十周年 田中佐次郎展」
- 2014 スイス・ジュネーブにて、日本通商条約150周年記念「田中佐次郎展」
- 2016 ニューヨークにて「石黒宗麿・田中佐次郎二人展」
- 2019 日本橋三越にて「田中佐次郎 陶禅一如展」



LIXILは、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTUREを表現していきます。LIXILは、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。